

広島都市学園大学 健康科学部保護者の会 会報



【「こころ」の由来：広島都市学園大学の理念である「心技一体」の1文字からつけています。】

第 9 号

発行 広島都市学園大学健康科学部保護者の会
発行先 〒 734-0014
広島市南区宇品西五丁目 13 番 18 号
TEL 082-250-1133
FAX 082-250-1134

大学院保健学研究科保健学専攻 が認可されました



古澤敏昭
理事長・総長

楓葉黄なりの候 保護者の会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来春より大学院を開設しますので、ご紹介させていただきます。

広島都市学園大学の平成三〇年四月開学の大学院（保健学研究科保健学専攻）の修士課程設置が、大学設置・学校法人審議会に諮問され、設置認可申請審査が終了。八月二十五日（金曜日）に判定を「可」とする答申がなされました。

場所は、西風新都キャンパスで、定員は一〇名。修業年限二年間で、「修士（保健学）」の学位が授与されます。

本研究科修了者は、①実践の場での高度な専門職業人として臨床実践施設に就職して、将来的には部門のリーダーとして後進教育、学生指導に活躍する、②教育・研究に必要な能力を修得していますから、大学等を始めとする教育・研究機関や企業の研究等での教育・研究者となることが可能、③博士課程への進学が可能となり、博士課程修了後は、研究機関・行政機関の管理者として活躍できます。

大学院の専任教員は、教授八名、准教授三名、専任講師一名でスタートします。開設後においても「既存学部」に在籍する若手専任教員への研究奨励による育成、「カリキュラム・ポリシー」に即した外部からの若手専任教員の起用、「外部からの経験豊富な専任教員の起用」の三つの観点で教員を確保していきます。

現在、本学園は平成二一年に開学した広島都市学園大学健康科学部看護学科、平成二五年に開設した同学

部リハビリテーション学科（理学療法専攻、作業療法専攻）、及び平成二六年に開設した子ども教育学部子ども教育学科を中心に、多岐の産業分野からのニーズに応えるため、商業、工業、文化教養、教育・社会福祉、衛生、医療など多岐にわたり、六校の専門学校を運営しています。

新に大学院保健学研究科を設置することで、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者が提供する支援サービスの質の向上に対応するものとなります。健康科学部が持つ看護学科、リハビリテーション学科での学部教育をベースとし、それぞれの学問領域である「看護学」及び「リハビリテーション学」を、より広い概念の「保健学」で捉え直したうえで、各専門領域での課題について探求することができるよう大学院の創設が必要であると見え、設置します。

広島県における保健学分野の各専門職の人数について、平成二九年現在の看護師は、広島県看護協会加入数で看護師一五、二一〇人、広島県理学療法士協会加入者二、七二九人、広島県作業療法士協会加入者一、三六〇人です。今後も増加するであろうことから、若い専門職への教育やとりまとめができる人材の輩出が必要となります。また、広島県の高齢化率（六五歳以上）は、平成二七年で二八・二％、後期高齢化率（七五歳以上）一六・一％ですが、平成四七年で各々、三四・五％、一一・四％と推測されています。広島市においては、去年の高齢化率は二三・八％で、毎年一％前後の増加が認められる予想です。高齢化率の格差は過疎地が倍近く高いのですが、今後、都市部で高くなるという予想がでています。第六期ひろしま高齢者プランでは、福祉・介護の人材不足など、医療や介護に係る課題と問題は深刻化し、今後、医療費及び介護に関する費用の増加を抑えて、元気高齢者を

増やすために、より質の高い支援が広島市で必要となり、より専門性の高い人材が求められると考えます。

この度設置する大学院保健学研究科保健学専攻では、「地域・生活上支援学」「健康増進・障害予防学」「保健学教育・組織マネジメント」の三領域を設定し、理論的・実践的な教育で、幅広い知識や高度な専門性をもった研究者、教育者、実践者（管理者）を養成し、社会に貢献してまいります。

入学希望者は出願に当たって、あらかじめ、希望する研究領域の研究指導教員と事前相談を行ったうえで出願しなければなりません。事前に入学後の研究テーマ、内容等の方向性について相談します。これは、大学院生ごとに研究指導教員を定めるからです。また、入学試験受験資格は、所謂、大学卒業または見込みの者ですが、大学を卒業した者と同以上の学力があると認められた者という受験資格もありますので、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や、その他の教育施設の修了者であっても、本学大学院における個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、二二歳以上であれば受験資格が与えられます。

入学試験は、一般入学試験以外に、有識者、主婦など二年以上の社会人経験がある人のための社会人入学試験の二種類があります。

大学院生の研究指導教員は、入学前の相談を踏まえて、入学後速やかに研究指導教員と副研究指導員を研究科委員会が決定します。第一年度の七月までに研究指導教員の指導のもとに研究テーマを決め、一月中旬に第一回の中間発表を研究科全体で行います。この発表内容は、院生それぞれの研究テーマと研究計画などを研究科教員及び全大学院生に周知するものとなります。これにより院生に大きな支援と協力を得られる体制が造られます。二年次の六月中旬に開催される第二回の中間発表で研究の進捗状況を発表し、年明けの一月末に研究論文を提出します。社会履修は夜間開講を行います。社会

人の大学院生等、勤労状況を配慮し、土曜日・日曜日の開講も予定し、社会人が無理なく二年間で修了できるように配慮しています。併せて、相当の理由があれば、就業年数延長の制度（長期履修制度）も組み入れています。正規雇用かどうかは関係なく、院生本人の収入により生計を維持しており、育児や介護等で、履修や研究の時間が制限される事情があると認められれば、一年単位で長期履修計画を定めることができます。

言語聴覚専攻科新設（指定申請中）

四年制大学卒業（卒業見込み者を含む）に受験資格がある「言語聴覚専攻科」を平成三〇年四月一日から西風新都キャンパスに新設します。修業年限は二年で定員四〇名です。

【言語聴覚士法第二条 この法律で「言語聴覚士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、言語聴覚士の名称を用いて、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るため、言語訓練その他の訓練、これに必要な検査及び助言、指導その他の援助を行うことを業とする者をいう。】

言語聴覚士（略称 ST）の広島県内養成校は、県立広島大学三原キャンパスと広島国際大学の二校だけです。大学課程のため四年間の通学が必要で、広島都市学園大学の言語聴覚専攻科は、大学卒業または卒業した者と同等以上の学力がある者で、二年間の養成課程を修了すれば、国家試験を受験できる、広島県内初の課程となります。

男性の入学希望者は勿論ですが、特に女性が社会進出するにあたり、特に、お勤めしたい職業です。既に一定の基礎学力と社会性を備えた人に対して、短期間で教育を行い、優れた言語聴覚士を世に送り出すことによって、地域社会に貢献できると本学は考えます。つまり、卒業した大学の学部には関係なく、他分野の学びをされた社会人・職業人であってもハンディとはならない仕事とい

えるのです。

話す、聞く、表現する、食べる……。誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。こうした、ことばによるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。医療分野はもちろん、教育、福祉の分野にも活動の場が広がっています。言語聴覚士は医療機関だけでなく、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活躍。ことばや聴こえに問題をもつ方とご家族をやさしく支援します。（日本言語聴覚士協会ホームページより）

言語聴覚士国家試験受験資格の取得に必要な専門基礎科目と専門科目を中心に据えたカリキュラムに基づいた教育を行います。また、臨床実習中の事故等を補償する「学生教育

区 分	臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ
主な目的	臨床の場でコミュニケーション障害を持つ人に接し、対象者への理解を深めるとともに、言語聴覚士の役割と適切な行動について学ぶ。	臨床業務のプロセス全体を経験することにより臨床での学びを深め、生涯にわたって自己研鑽を続ける言語聴覚士としての姿勢を身につける。
実習時期	1 年次後期（2 月）	2 年次後期（9 月～11 月）
実習期間	4 週間	8 週間
実習形態	見学および面接・評価の一部を指導者のもとで実施させていただく。	見学および面接・評価から治療、再評価までのプロセスを指導者のもとで体験させていただく。

研究災害障害保険」および「学生・生徒二四時間共済」に大学の責任において加入します。

平成九年に言語聴覚士が国家資格とされ、診療報酬が改定されたことを受けて、言語聴覚士を採用する医療機関・施設は、大規模な病院やリハビリテーション病院以外に、脳神経外科・内科、内科、小児科、耳鼻咽喉科等へ広がっています。

成人領域では、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設といった高齢者施設のほか、在宅医療における要請が増えています。小児領域では、発達障害、学習障害、聴覚障害、吃音等への対応のために、特別支援学校等の学校教育現場においても、外部専門家として導入されています。このように、言語聴覚士の活躍の場は益々広がると予想されていますが、養成機関が少ないために、現場からの需要に比べて新に資格を取得する人が少なく、恒常的な人材不足を生じています。

言語聴覚士は、理学療法士や作業療法士と職務領域が近接しているだけでなく、とりわけ患者や障害を持つ人との中長期的な対応と密接なコミュニケーションが必要な職種であり、まさに、本学の建学の精神「心技一体」に基づくものであり、本学が育成するにふさわしい専門職です。

職員による自衛消防訓練を行いました

三月十六日 西風新都キャンパスにおいて広島工学院大学、広島医療保健専門学校、広島都市学園大学合同防火訓練を行いました。

通常、学校での消防訓練は生徒や学生が参加するものと思われていますが、消防署より、学生の避難訓練も大切であるが、職員・教員の訓練を最優先した方がよいとのアドバイスを受けて、西風新都キャンパスに勤務する教員・職員が主体の訓練としました。※学生・学校を守る意識の向上を図る※災害時に職員が消防設備を正しく扱えること。(消火栓、消火器など)※避難誘導・通報・初期消火など、適格に機能し動けること。

※組織図の各班内での連携や打合せが日頃から出来ていること。という指導を受けての訓練となりました。



119番通報のしかた

通報メモ
火災・救急・救助は119
①火災です。(救急です) 区 町
②場所は 丁目 番 号
大字 番地の
です。(ビルやアパートなどでは、階数や部屋番号も記入してください)
③目標は です。
④ が燃えています。(病人、けが人がいます)
⑤私の名前は です。
⑥電話番号は です。
●あらかじめ記入し、電話のそばに貼っておくと便利です。

平成二八年度学位記授与式・平成二九年度入学式挙行される

卒業式・学位記授与式が三月二二日に、入学式が四月四日に行われました。例年、卒業生の表彰は学位記授与式で、在校生は入学式で表彰されます。今年はリハビリテーション学科第一期の卒業生を送り出しました。看護学科の卒業生は一〇六名、リハビリテーション学科卒業生は九六名です。卒業式で表彰された学生は、次の通り。

【学長賞】在学期間中の成績が最も優秀な者
看護学科 名古田美咲さん
リハビリテーション学科 佐々木真理さん

【優秀賞】成績優秀で表彰する者
看護学科 高橋 香帆さん
田辺 佳奈さん
リハビリテーション学科 角 啓太郎くん
田村 嘉章くん

理学療法専攻 田村 嘉章くん
作業療法専攻 田村 嘉章くん

【学外団体からの表彰】

日本私立看護系大学協会表彰
看護学科 正戸 千秋さん
全国リハビリテーション学校協会
リハビリテーション学科 重廣 崇志くん
理学療法専攻 仙藤まり子さん
作業療法専攻 仙藤まり子さん
日本理学療法士協会表彰(優秀学生賞)
リハビリテーション学科 上本 佳奈さん
理学療法専攻 上本 佳奈さん
日本作業療法士協会表彰(優秀学生賞)
リハビリテーション学科 井町 真衣さん
作業療法専攻 井町 真衣さん
入学式で表彰された学生は、次の通り。

【成績優秀で表彰する者】

平成二八年度三年次生
看護学科 方 菜南さん
平岡 菜弥さん
リハビリテーション学科 尾崎 知子さん
理学療法専攻 尾崎 知子さん
作業療法専攻 松下 佳代さん
平成二八年度二年次生
看護学科 平田 紗衣さん
金子 ゆかさん

リハビリテーション学科 梅本 伸矢くん
理学療法専攻 梅本 伸矢くん
作業療法専攻 山本 克志くん
平成二八年度一年次生
看護学科 児玉明日香さん
寺上 由夏さん
リハビリテーション学科 溝部 理くん
理学療法専攻 溝部 理くん
作業療法専攻 阿部 宏樹くん
【課外活動振興の功績及び社会活動の功績で表彰する者】
環境整備 看護学科 田向麻莉佳さん
学園祭 リハビリテーション学科 石本 貴広くん

新任教員紹介

瀧本茂子先生 職位 教授
専門分野 老年看護
学位記 保健看護学修士
大園孝子先生 職位 教授
専門分野 小児看護学
学位記 修士「公共政策」
後藤 淳先生 職位 講師
専門分野 成人看護学(慢性期看護学)
学位記 看護学修士
松脇喜久美先生 職位 講師

専門分野 基礎看護学・看護教育
学位記 修士(看護学)、
学士(法学)
松木優子先生 職位 助教
専門分野 災害看護学 母性看護学
学位記 修士(看護学)

新任職員紹介

安部隆之(あんべ)事務局 企画室長
昭和五四年より広島県瀬戸内高等学校に保健体育の教員として勤務
在職中には野球部顧問として甲子園出場に貢献、また、水泳部の顧問としてもオリンピック選手二名を輩出した。

看護学科の学生

学科長 北原悦子

九月二五日から後期の授業が始まり、大学内は活気づいています。一年次生は入学から半年が過ぎ、大学生として初めての試験も経験し、高校生の名残から大学生になりつつあります。一年生の言葉を借りれば、最初「大学生になったからお洒落したりアルバイトしたり遊んだりできる」と思っていたようですが、入学四日目から怒涛のような授業が始まり、「授業の内容は専門用語が多くて理解できない。授業が難しい。教室内演習がある時は髪も黒く染めなおし、爪も短く切り揃えないといけないのでお洒落ができない。」などの声が聞こえてきます。大学での「学修」は高校までの「学習」ではなく、自ら予習復習する主体的な準備が必要です。最初、そのことに戸惑ったようです。前期は高



校生から大学生になる過程で、さまざまな初年次教育が展開されました。看護は患者さんに看護技術を紹介してケアを行うので、「生活援助技術学」で検温、シーツ交換、体位変換、移動、車いす移動、体を拭くこと、洗髪等の技術を習います。家庭でも経験したことがないでしょうから、最初、おぼつかなく戸惑いながら行っていました(特に男子)半年もすれば、上手になってきました。一年生は新鮮で真剣にものごとに取り組んでいます。生活援助の観点から家庭での家事の体験をさせて下さい。

二年生は四年間のうちで、講義が中心となり、授業科目数も多くなり、難しさも格段上になってきます。五月一日には「実習宣誓式」を執行行いました。病院や地域の臨床実習に行く前に各学生が看護の道を進むことの宣誓を行う場で、厳粛で決意を新たにします。二年生では夏休みに、人生で初めての臨床実習Ⅱ基礎看護技術実習Ⅱを体験し、病院の環境、病院で働く専門職、看護師の仕事内容、患者との対応、基礎的看護技術を学びました。学生の多くは「看護師さんは素晴らしい、あのようにするには自分には勉強が足りなかった」と猛省していました。三年生はこの二年半で看護に関する全ての授業科目を終え、さまざまな要件をクリアした学生が九月初旬から本格的な病院実習Ⅲ領域別実習Ⅲに行っています。本格的な実習です。ので、勉強や提出物、マナーといった社会人になるための指導や教育を受けて悩みながら頑張っています。患者さんの対応にしても自分の祖父母や父兄の年齢の方々に受け持つことが多く、相手の反応に戸惑ったり、上手な物言いができなくて相談してくる学生もいます。各病院に一名ずつ配置された本校の教員が、その悩みを聞いてアドバイスしたり、実習が円滑に進むよう学修上の援助を密に行っています。教員も若かりし頃、学生と同じ体験をしてきているので、ここから応援しているのです。領域別実習が済んだ四年生は、「看護研究」「在宅看護学実習」「課題



別統合実習」や、保健師課程の学生はその専門の実習を体験します。八月には全ての実習が終了し、残すは全科目の卒業試験にあたる「総合評価」を受験します。この間に、就職試験、国家試験模擬試験、国家試験セミナー等があり、多忙を極めます。国家試験合格者向上のため、一年次から学修が定着するように教員総出で、さまざまな対策をしております。四年生は国家試験対策がおそろいにならないように、家庭での勉学の習慣化、自宅に閉じこもらずに大学に出てきての学修などをお願い申し上げる次第です。国家免許が課せられる職業は学生自身の自覚と責任が必要ですので、ご家庭での協力もお願い申し上げます。安佐南区内の大学学生担当職員が六月二二日に安佐南警察署に集合。安佐南警察署管内の犯罪情勢と防犯対策等について警察署から詳しく説明を受けました。集まった大学は、広島経済大学、広島工業大学沼田校舎、広島修道大学、広島市立大学、広島都市学園大学、広島文化学園大学・短期大学長東キャンパス、安田女子大学・短期大学です。安佐南警察署からは、署長、刑事官、地域交通官、交通課長、生活安全課長、生活安全係長が出席してくださいました。「チカンに注意！」電車の駅から一〇分程度のところで、夜間の徒歩

「夏季に向けた被害防止大学担当者連絡会議」が開催されました

安佐南区内の大学学生担当職員が六月二二日に安佐南警察署に集合。安佐南警察署管内の犯罪情勢と防犯対策等について警察署から詳しく説明を受けました。集まった大学は、広島経済大学、広島工業大学沼田校舎、広島修道大学、広島市立大学、広島都市学園大学、広島文化学園大学・短期大学長東キャンパス、安田女子大学・短期大学です。安佐南警察署からは、署長、刑事官、地域交通官、交通課長、生活安全課長、生活安全係長が出席してくださいました。「チカンに注意！」電車の駅から一〇分程度のところで、夜間の徒歩

で帰宅途中で被害に会う率が多いそうです。ストーカーの被害は一人では解決できないので、エスカレートする前に、警察や信頼できる人に相談するようにして欲しい。女性警察官が対応してくださるそうです。架空請求・LINE詐欺といった多くのお話を聞くことが出来ました。不審者を見たら必ず、学校に連絡してください。不審者の体型を忘れないように警察や学校に伝えてください。犯人は一人とは限りません。一人捕まっても安心しないよう注意し、気をつけてください。

【被害に遭わないために】

身に覚えのない請求は無視して、まずは相談を！

悩んだときは、家族や警察に相談を！
安佐南警察署 千七三〇一〇一三
広島市安佐南区西原九丁目三二〇
Tel. 〇八二一八七四一〇一一〇
緊急時は、一一〇番。

QRコードを利用した
身近な場所の犯罪情報が
発信されています



広島県警察では、ひったくりなどの街頭犯罪の被害を防ぐため、QRコードを掲示して、

携帯電話で手軽に周辺の犯罪発生情報等を閲覧できるようにしています。提供される情報内容は、対象場所を中心とした犯罪発生状況(暴行、自転車盗、恐喝、置き引き、強制わいせつ)ひったくりの発生マップ不審者情報の発生マップ逮捕情報(広島市域全般)となっています。

安佐南警察署から毎月、ポリスレポートが送られてきます。それにより、六月一九日午前九時四〇分頃、安佐南区大塚東で発生した犯人が検挙されました。この事件は安心しましたが、今後も注意して行動してください。

リハビリテーション学科
卒業生に聞きました

八月一九日(土)の午後、今年の三月に卒業されたリハビリテーション

ン学科第一期生に集まっていたので、社会人・職業人としての感想をお聞きしました。司会者はリハビリテーション学科キャリアサポート委員平岩和美先生にお願いしました。平岩先生 この座談会では、就職された皆さんの様子をお聞きし、在学生の保護者の皆様にも、この学校を卒業後、働きだしてからの様子をお伝えすることを目的としています。また、卒業教育を含む母校のフォローについて考える機会とさせていただきますと思います。皆さん、就職して五ヵ月立ちましたが、お仕事はどうですか。

角 啓太郎さん 八千代病院 理学療法士
リスクの高い患者さんが多く、管理が大変です。新しく回復期病棟を立ち上げる計画があり、このメンバーに入っています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士で対応しています。矢吹晃輝さん 木阪病院 理学療法士 実習は一人の患者さんに対応する時間がありますが、就職すると何人もの患者さんを時間内で見ていくことから、経験が少なく今、毎日勉強しています。認知機能が低下された患者さんがおられ、リハビリを拒否される場合があります。しかし、拒否されたままではいけないので、その原因を考え、改善していくことを、ご家族とともに考えさせていたたいです。

井町真衣さん 草津病院 作業療法士 急性期から慢性期まで幅広く、八病棟あります。各病棟に作業療法士が二名ずつ配置され、自分は一般病棟で勤務しています。草津病院は精神科で長期入院の方は二〇年間居られる方もいます。そういう方々は意欲が低下され、自閉的で活動の取り組みが困難なおられます。認知症の方たちは自己のコントロールができな方がおられ、そういう方たちを集団活動の中に入れていただくようにするのが私の課題です。

平岩先生 各病棟二名の配置はベテランの先輩と一緒にですか？
井町さん はい。先輩が休まれると自分だけで担当するのですが、精神科は集団プログラムになるのでカラ

オケや体操を一人で担当することもあります。体調のすぐれない方もありますので実際に参加する方は三〇名ぐらいです。
大西麻湖さん 広島西医療センター 理学療法士
慢性期病棟と急性期病棟とがあり、神経筋疾患ALSとか筋ジストロフィー、重症心身障害者が利用しています。一般患者では整形外科や呼吸器などの内部疾患患者が多いです。リハビリをしたから症状が良くなる患者さんは少なく、症状が進行していく患者さんが殆どなので、QOLの向上や、関節可動域やストレッチのアプローチをしていきます。

平岩先生 大西さんは実習に行った病院に就職されましたが、思ったより大変だったということはありませんか。
大西さん 人間関係とか患者さんへの対応とかになります。実習ではスパーバイザー(実習指導者)が付いてくださるのですが、就職すると一対一でかわっていくので患者さんとの関係に悩むことが多くなりました。その責任の重さを感じていました。

平岩先生 作業療法士の就職先としては身体障害、知的障害、精神障害の分野がありますが、井町さんが精神科を選んだ理由を教えてください。
井町さん 理由は二つあって、一つは、川畑先生の精神の授業が楽しくて、精神の授業は意欲的に取り組めたことです。さらに長期実習に行つて、精神科で働きたいと思いました。お互いに顔を合わせることが多くなった精神科の患者さんが、前向きに変わってくださったと実感することが嬉しいですね。

平岩先生 理学療法士、作業療法士になって良かったと思う事、やりがい、どんなことですか。
平岩先生 実習では急性期、回復期とを経験させていただき、リハビリをするのが当たり前で症状が良くなって帰られると思っていました。就職先は維持期リハビリテーションの病院なので、病棟の職員さんからは、「なんでリハビリするの」と言われ、患者さんにも変化が見られないことが多いです。担当の患者さんが亡くなったときは悩みました。自分のリハビリがええって患者さんの体調を悪くしたのではないかと。大西さん 気管切開をしておられる患者さんの様子で急な対応の要請が病棟からあったりするので、臨機応変さが求められます。PHSで頻繁に呼ばれます。



井町さん 長い間入院している人がハンパーガーショップに行った時、注文の仕方がわからないとか、交通機関の乗り方が判らないという人がいました。看護師さんが付き添って外出練習をします。社会復帰の練習をしても、判らないから外出したくないと言われます。「誰かに見られ

て」といった妄想とかもあるようです。人目が気になると言われます。平岩先生 二〇年も入院された方が社会復帰されることを考えると大変なことで、就職すると大変なことが沢山あることがわかってきます。将来、キャリアアップしたいと思ったとき、行き詰まったときは学校に相談に来て下さい。
臨床で必要とされているが、自分に足りないと思っていることはどのような事ですか。
大西さん 知識と経験です。先輩方から学ぶことが多いです。学ぶための工夫として、病院内での勉強会の知らせがあるので、参加しています。同期は作業療法士一人、言語聴覚士一人ずついるので、同期で協力しています。先輩には、こちらからわからない事を聞きに行きます。

健康科学部
保護者の会総会

保護者の会平成二十九年度第一回定期総会が四月二二日(土)午後二時から、宇品キャンパス一号館二階中

講義室に役員を含む保護者四八名が出席され、委任状四七六名(会員総数八七九名)で、司会を西村徳弘理事、議長を丸山英治会長、書記を宮脇美成子理事、書記補佐を西風新都キャンパス事務長が行う案を議場に提示し、拍手により開催が承認されましたので、左記のとおり、ご報告します。

【議事】

一、議長が第一号議案「平成二八年度事業報告について」を提示。事務局が説明して、拍手多数により承認されました。

【事業報告内容は左記の通り】

・平成二八年四月四日入学式に丸山会長が参列されました。
・同四月九日 第一回役員会開催。総会議題と役員を確認しました。
・四月二三日 第二回役員会で、総会の内容と進行について最終確認しました。

・七月二日 第三回役員会では、総会を出された意見、学生表彰者への助成、総会議案の議決方法、総会の議事進行者等について検討があり、丸山会長から説明されました。成績優秀者へは、大学から表彰状と図書カードを贈り、他の表彰者には表彰状を贈っており、保護者の会からは、学位記ホルダーと記念品を卒業生全員に贈っていること、「大学から」表彰を受けることが就職等、人生にとって意義のあることで、現状通りとしたと説明。総会席上での、承認方法を拍手でなく挙手による方法を求める意見について、議場において反対意見が多く出されたときは挙手による方法とし、他は従前どおり拍手で議決することとしたと説明。総会の議事進行者(会長)について、代表者が議事進行を行わないところもあるが、任意団体である本会が議事進行者と会長とを分ける必要性を要しないとの提案があり、規約第七条通り、会長が議長となるとすることが了承されたことを説明。

・一〇月一日 第四回役員会では、会費納入状況と会報「こころ」の記事等掲載内容について確認しました。

した。

・十一月一日付けで会報「こころ」第七号を発行しました。

・十一月二〇日開催の大学祭「みやこ祭」に、パンフレット作成費と機材借上げ費を援助しました。

・十二月一七日 第五回役員会では、会報八号の内容を検討し、卒業記念品の選定、総会終了後の懇談会実施を検討しました。

・平成二九年三月一日付で、会報「こころ」第八号を発行。

・三月四日 第六回役員会で、二八年度事業報告と決算(案)・二九年度事業計画と予算(案)を検討し、会報第八号の最終確認を行いました。

・三月二二日の学位記授与式に会長が参列されました。

・また、保護者会ホームページを立ち上げたことを会長から報告がありました。(大学ホームページ↓画面上部大学名のすぐ下「在学生・保護者の方へ」→画面左 図書館の下「健康科学部保護者の会」をクリックして入れます。)

二、議長が第二号議案「平成二八年度決算について」を提示し、事務局が説明。次年度繰越金の校正間違(看護学科誤36,153,304→正3,601,538、リハビリテーション学科誤3,909,265→正3,924,521)を説明し、修正を求めました。続いて、吉川利江理事が監査報告を行いました。質疑応答があり、審議の結果、拍手多数により承認されました。

【質疑応答は左記の通り】

・会費の予算と決算の開きについて説明を求められ、事務局から、予算では全員を計上するが、退学者等で加入率が八〇%以上となる現状を説明。議長から、家計の事情もあることを説明されました。

・会費の納入状況と援助額に違いがあるかの質問に、事務局から、納入割合により援助額に違いが有ると説明。

・次年度繰越金がそれぞれ高額であり、その運用について質問が出されました。事務局から、援助を開始するまでの期間の繰越金があることを説明。今後、保護者会での検討



が求められ、会長から、高額であることは望ましくないので、皆様の意見を寄せていただきたいと回答。

看護学科三年の保護者から、一年次に総会の席で、実習旅費金額が援助されると聞いたとの質問があり、事務局から、従前は学生に実習先交通費の領収書を申請書に添付の上で提出させ、実習地により違う金額を援助していたが、実習終了まで学生が領収書を保管する負担軽減を考慮し、当時の役員会で検討していただき、実習お疲れ様の意味を込めて定額助成とすることが承認されたことを説明。去年の総会と去年一〇月発行の機関誌「こころ」にも議事録を掲載していると説明。

保護者の会会費年間二万円の納付方法について、入学前に一括で支払う方法が提案され、事務局から、入学条件と勘違いされる場合や、一括で支払うことを負担に感じられる方もおられることで、毎年の納付をお願いしていると説明。会長から、保護者の会役員会でも検討していると報告された。続いて、事務局から、納付が全額で無い場合、学生に援助金を渡すときに比率により減額していることを説明しているとの報告。

三、議長が第三号議案「平成二九年度事業計画(案)について」を提示。事務局が説明し、拍手多数により承認されました。

四、議長が第四号議案「平成二九年度予算(案)について」を提示し、事務局が説明後、質疑応答があり、審議の結果、拍手多数により承認されました。

【質疑応答は左記の通り】

卒業記念品の単価が学科で違う理由についての質問があり、事務局から、誤記のため修正すると回答。

実習援助費を学生に渡すときに、ゼロ円と書かれた封筒を渡すこと以外の方法はないかとの意見が出され、会長から、学生への配慮も念頭に役員会で検討したいと回答がありました。

五、議長から第五号議案「平成二九年度役員について」を提示。事務局から、お子様が卒業された役員がおられることから、副会長と監事について、また、理事の継続について審議いただきたいと説明があり、第五号議案は拍手多数により承認され、出席役員が保護者の会役員に就任して良かった点を話しながら自己紹介をされました。

六、議長から、第六号議案「保護者の会」名称変更(案)を提示。事務局から、子ども教育学部から今年度、初めての卒業生が出ることから、保護者の会発足が計画されているので、これを前提に、「健康科学部保護者の会」に変更したいと説明。第六号議案を拍手多数により承認されました。

平成二八年度保護者の会決算報告

一、収入の部	収入の部
・会費 看護学科 二万〇〇〇×三六二名 七、二四〇、〇〇〇円	・収入の部
リハビリテーション学科 二万〇〇〇×三八八名 七、七六〇、〇〇〇円	・会費
合計 一五、〇〇〇、〇〇〇円	・看護学科 二万〇〇〇×三六二名 七、二四〇、〇〇〇円
・利息等 七八二円	・看護学科 二万〇〇〇×三八八名 七、七六〇、〇〇〇円
・繰越収入 六、九六五、六九三円	・看護学科 二万〇〇〇×三六二名 七、二四〇、〇〇〇円
収入の部合計 二一、九六六、四七五円	・看護学科 二万〇〇〇×三八八名 七、七六〇、〇〇〇円
二、支出の部	・看護学科 二万〇〇〇×三六二名 七、二四〇、〇〇〇円
・援助費(学生行事) 五〇、四三二円	・看護学科 二万〇〇〇×三八八名 七、七六〇、〇〇〇円
大学祭パンフレット・ポスター作成 四八三、八七九円	・看護学科 二万〇〇〇×三六二名 七、二四〇、〇〇〇円
合計 五三三、三一一円	・看護学科 二万〇〇〇×三八八名 七、七六〇、〇〇〇円
・援助費(大学行事)	・看護学科 二万〇〇〇×三六二名 七、二四〇、〇〇〇円

学位記ホルダー授与

看護学科 一〇五、七九四円
リハビリテーション学科 八七、八二八円
謝恩会助成 二九、四九〇円
看護学科(二万円補助の内、九〇、五一〇円)

リハビリテーション学科 二二〇、〇〇〇円
合計 四〇四、一三二円
援助費(国家資格取得援助費) 看護学科 一、七二九、〇二九円

業者模範試験 七四八、二四六円
三年次 三八四、三二四円
二年次 一〇九、〇四一円
実習消耗品 二四〇、四九七円
三年次 二六七、四九六円
二年次 三、四七八、五九六円

リハビリテーション学科 二六九、〇〇〇円
業者模範試験 三年次 二六三、〇〇〇円
三年次 五一一、五〇〇円
二年次 一、〇四四、五〇〇円
合計 四、五二二、〇九六円

・援助費(教育上必要な施設・設備に関する援助) 八〇〇、〇〇〇円
施設・設備充実協力金積立 (両学科共) 二五〇、三六五円
図書(両学科共) 一、〇五〇、三六五円
小計(一学科につき) 一、〇五〇、三六五円
合計 二、一〇〇、七三〇円

・援助費(実習旅費等援助費) 看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円

・看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円
看護学科 三、三〇六、六六二円

役員紹介

お子様のご卒業とともに退任されました役員に変わり、新しく七人の新役員が就任されましたので、役員全員一八人の方々をご紹介します。

会長 丸山 英治様(看護学科)
副会長 西村 徳弘様(看護学科)
理事 上條久美子様(看護学科)
西田 明子様(看護学科)
宮迫 洋子様(看護学科)
村上 尚史様(看護学科)

・重村智恵子様(看護学科)
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様

・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様

・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様

・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様

・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様
・(リハビリテーション学科理学療法専攻) 重村智恵子様